

第 57 回 発電用設備規格委員会 火力専門委員会 溶接分科会 議事録

1. 日 時: 2013 年 8 月 26 日(月) 13 時 30 分～17 時 15 分

2. 場 所: 日本機械学会 第3・4会議室

3. 出席者: 青山(東大)、樺田(三菱重工)、茂田井(東電)、幅野(IHI)、原田(東芝)、逢澤(日立)、
鈴木(日溶協)、水谷(東工大)、中村(中電)

代 理: なし

欠 席: 山下(神鋼)、飯田(東電)、根岸(関電)、長谷川(発電技検)

オブザーバー: 鈴木(東電)

事務局: 海野(記)

4. 配付資料

57 - 1 . 第 56 回溶接分科会議事録(案)

57 - 2 . 溶接分科会委員名簿

57 - 3 . 発電用火力設備規格正誤表について

57 - 4 . 審議レビュー票

5. 議事

(1) 前回議事録確認

[資料 57-1]

前回議事録(案)について確認を行った結果、意見等は特になく、議事録案は承認された。

(2) 分科会委員・役員の承認

[資料 57-2]

退任委員および新任候補、再任候補無しが確認された。

(3) 報告事項

(3 - 1) 発電用火力設備規格正誤表について

[資料 57-3]

発電用原子力設備規格での正誤表例を説明し、発電用火力設備規格 201X 年版策定作業を 2012 年版用の誤記訂正等の正誤表の作成も念頭に入れて進めることが確認された。

(4) 審議事項

(4 - 1) レビュー票審議

[資料 57-4]

章

アーティクル2(原田委員)

(審議対象: T-223, 270～271.2, 274.2, APPENDIX -230, -270～276.3, -290, 291, 付表)

・T-274.2 幾何学的不鮮明度 U_g は材料厚さの $1/100$ の値を規定しているが、ASME の SI 値を採用すると $1/100$ にならないため、材料厚さの規定値は換算値を採用することとする。
(換算値を採用することにより表 T-276IQI の選定に規定の材厚の数値とも整合) 換算値を採用した理由については補遺に明記する。

アーティクル4(逢澤委員)

(審議対象:T-434)

- ・試験片寸法に関する規定値については、全て ASME の SI 値を採用する。
(換算等により JSME 独自の寸法を規定すると JSME 独自の試験片を用意する必要があるため ASME に合わせる)

アーティクル6(中村委員)

(審議対象:T-621～693,APPENDIX , ,)

- ・PT の試験温度の上限については JIS にあわせ 50 とする。
- ・ASME を引用している条項は、引用先の ASME 自体を取り込めないか検討する。

章

アーティクル (樺田副主査)

(審議対象:QW-252～290)

- ・抵抗溶接、フラッシュ溶接等について引き続き省令要求外とするか検討

6. 次回開催予定

日 時: 2013 年 11 月 18 日(月)13:30～17:00

場 所: 日本機械学会 第 3,4 会議室

以 上